

# town



小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの町をご紹介します



邑南町

出羽地区

(出羽自治会)

## 出羽を盛り上げ続けたい

邑南町の中部に位置する出羽には、銀山遺跡の「久喜銀山(くきぎんざん)」と「大林銀山(おおばやしぎんざん)」跡地があり、2021年には久喜銀山が国の史跡に指定されました。200カ所を超す間歩群と24個の精錬所があったことから銀山の里と呼ばれ、最盛期の戦国時代末から江戸時代はじめには、この地域に数千人が暮らしていたほど栄えていました。また、かつては中国地方三大牛馬市と呼ばれるほどの牛市が開催され、多くの人々が牛の売買を目的に出羽に集まり賑わっていました。

昔から祭りやイベントの盛んな地域でもあり、3月には「出羽雛街道」が開催され、さまざまな雛人形が通りを行き交う人たちの目を楽しませてくれます。11月に行われる「まんぷく祭り」では各地区から料理を持ち寄り、神楽やブラスバンドなどで盛り上がります。最近はコロナ禍のため規模を縮小して行われています。



### 小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな  
拠点を  
づくり

# idea

## 小さな拠点づくり

Creating a small base

邑南町

## 出羽地区

(出羽自治会)



## 私たちの アイデア

# 出羽自治会としての活動 「空き店舗を活用した パン屋の誘致」と 「寄り合い処」



### 目標

地域外の大学生や若者に出羽の暮らしを体験してもらう機会を設け、耕作放棄地の新しい活用方法や、地域の商店の活性化など、地域の問題について外から違った視点で意見をもらい、時代にあった方法を考えたいです。また、「寄り合い処」では、コロナが落ち着いたら高齢者だけでなく若者にも参加してもらい、多世代交流も深めていきたいです。そのためにも地域の若者だけでなく、積極的にターン希望者を受け入れ、地域外からも若者を呼び込み、地域を活気づけていきたいです。

### 活動内容

地区内にパン屋が無いことから、空き家を活用してパン屋を誘致しました。空き店舗を事前に改修し公募したところ、全国から応募があり、その中から県外から選ばれた方がパン屋をオープンしました。また、高齢者を中心とした「寄り合い処」を公民館で毎月開催し、ゲームやおしゃべり、食事を一緒に取ることで、高齢者の健康維持につながる活動も行なっています。

### きっかけ

出羽地区のために、自治会としてどのような活動を行うべきかを考えるため、まずは住民を対象に「夢づくりプラン」策定のためのアンケートを実施しました。20年後の出羽地区についての思いや、日常の困りごとなど、アンケートから得た意見を元に活動を計画。空き家や耕作放棄地の増加が特に課題となっています。また、活動によっては収益の出るものもあるため、合同会社出羽(LLC出羽)を設立し、自治会とともに事業を展開しています。地域課題の解決に向けて、「夢づくりプラン」に基づき、取り組みを進めています。

### まちのひとの声



移住されてきた方がパン屋をされていますが、行列ができるくらいの人気で、私もよく買いに行きます。若い人が頑張っている姿は、とても気持ちがいいですね。



### 小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな  
拠点  
づくり

# idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

邑南町

出羽地区

(出羽自治会)



私たちの  
アイデア

「空き家利活用としての活動  
LLC出羽として」



目標

活動内容

きっかけ

地域外の大学生や若者に出羽の暮らしを体験してもらう機会を設け、耕作放棄地の新しい活用方法や、地域の商店の活性化など、地域の問題について外から違った視点で意見をもらい、時代にあった方法を考えたいです。また、「寄り合い処」では、コロナが落ち着いたら高齢者だけでなく若者にも参加してもらい、多世代交流も深めていきたいです。そのためにも地域の若者だけでなく、積極的にターン希望者を受け入れ、地域外からも若者を呼び込み、地域を活気づけていきたいです。

LLC出羽の主な活動の一つが空き家対策。定住に向けた環境づくりのために空き家を改修し、所有者との条件交渉、定住希望者とのマッチング、住宅管理業務等をLLC出羽が行います。そこで得た収益は、家の修繕費などにあてます。その他の事業についても、自治会とLLC出羽が互いにうまく機能して、持続可能なまちづくりを目指しています。

出羽地区のために、自治会としてどのような活動を行うべきかを考えるため、まずは住民を対象に「夢づくりプラン」策定のためのアンケートを実施しました。20年後の出羽地区についての思いや、日常の困りごとなど、アンケートから得た意見を元に活動を計画。空き家や耕作放棄地の増加が特に課題となっています。また、活動によっては収益の出るものもあるため、合同会社出羽(LLC出羽)を設立し、自治会とともに事業を展開しています。地域課題の解決に向けて、「夢づくりプラン」に基づき、取り組みを進めています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな  
拠点  
づくり